

公的病院を守る取り組みを呼びかける岩橋氏—28日、参院議員会館内



統廃合やめ感染症対策を

公立・公的病院守れと集会

全労連など

全労連など6団体でつくる「公立公的病院等再編・統合阻止共同行動」

は28日、東京都内で意思統一集会を開き、新型コロナウイルス対策が求められるな

か、世論と共同を込めて病院の再編・統合をはねかえそうと訴えました。

集会後、厚労省や地元選出議員へ要請・署名提出を行いました。

集会であいさつした全労連の岩橋祐治副議長は、新型コロナウイルスに対して保健所などが統廃合や定員削減によって本来の役割を果たせておらず、

「この事態を目にして公立・公的病院の統廃合など許されない」と強調。県民連絡会の取り組みを強める「千葉」など

「患者・住民とともに共同を込めよう。政府・厚労省を包囲し、地方自治体を動かして」と訴えました。

中央社保協の山口一秀事務局長が、自治体や病院との懇談・申し入れ、地域医療の改善を求める取り組みなどを提起しました。

各地から「県の自治体にも参加を働きかけ県民集会を成功させた。『病院を守る会』が各地でつくられた」とある「専攻」、

「台原被雷の病院から多くの透析患者を受け入れた病院が対象になっている。県民連絡会の取り組みを強める」(千葉)など

明会あいさつで日本医師会の森田しのぶ委員長は、「効率性、生産性だけで医療は語れない。新型コロナウイルス対応で鋭く問われている。今こそ、地域医療を発展させていく運動を」と呼びかけました。

共産、立民、国民、無所属の国会議員や秘書らも参加。共産党の倉林明子参院議員は「白紙撤回に向けて頑張り抜く」と述べました。